



○学校教育目標

「**柄の木のよう**に **深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人**」

目指す子どもの姿

心も体もたくましい子ども

- ・明るく、よりよく生きようとする子ども
- ・何でも進んで楽しくやろうとする子ども
- ・自分の成長や変化に喜びを感じ、未来について考える子ども

人やものを大切にする子ども

- ・友だちの良さや違いに気づき、ともに笑顔で関わり合う子ども
- ・自分から人やものに働きかけ、ありがとうの気持ちを持てる子ども

よく考える子ども

- ・自ら疑問や未知の課題に気づき、関わり合って解決しようとする子ども
- ・解決しようががんばった過程や成果にうれしさを感じ、学び続ける子ども

令和4年度に大事にしたい子どもの主体性

- 授業開始時刻になったら、自分の学習を始める姿
- 自分がしたいことを決められる姿

- 自分の役割を理解して清掃に取り組む姿

- 分からないことには「教えて」、困ったことには「助けて」と声を上げる姿

○令和4年度学校運営の基本理念

「子どもが**自分らしく深く根を張れる学校**が“**明日も行きたくなる小山小**”」

重点課題1

**安心感が大切にされる『支持的な風土』づくり**

1 失敗や間違いから学べる関係

- 事実を明らかにし、間違いの原因を見つけて、トラブルを減らすことを学べる環境づくり
  - ・怒られず、責められず、「失敗や間違いからこそ学べる」という考えの下で、とことん聞いてもらえ、考えさせてもらえ、付き合ってもらえること
  - ・授業では「〇〇さん」と呼ばれること

2 子どもが特別支援教育の視点で理解され、受けることのできるチーム支援

- 社会（集団）性の高さゆえのリスクを踏まえた、コミュニティづくり
  - ・集団にリスクを与える仲間として排除されないこと
  - ・所属集団と他の集団との共感性を上げて、リーダーから多様性を示してもらえること
  - ・スキルの弱さが理解され、教えてもらえること

重点課題2

**充実感が大切にされる『考えることを楽しむ授業』づくり**

1 問いのある授業

- 「問題を解く」と「問いを考える」授業の調和
  - ・できたか、できないかでなく、自分や友がどう理解したか、どう考えているかに関心をもってもらえること
  - ・「ちょっと難しいかもしれないが、今の説明は分かりづらかったですか？」と尋ねられること

2 体験を通して体全体で考える学習

- 地域に触れる、ふるさと学習
- 自己理解、他者理解ができる学習

3 無力感を身に付けないための学習支援

- その子に合った方法と一緒に見つける支援
  - ・どこにつまずいているか理解してもらえること
  - ・練習不足、やる気不足と誤解されないこと

子どもたちが深く根を張る環境づくり

◆子どものための専門家集団を目指す職員の研究と研修

- 研究:5 校人権教育、県視覚・放送・情報教育研究大会、市 ICT 教育活用推進事業
- 研修:校内研修(授業づくり、ICT 活用、児童理解と支援、初任者研修)

◆家庭、地域との連携

- PTA 活動、支援会議、柄の木運営委員会(コミュニティースクール)、地域ボランティア

◆第2次須坂市教育大綱・須坂市子どもの学びのあり方について提言書・第3次長野県教育振興基本計画

